

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

職員7名に実施

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	未回答	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	1			
	2	職員の配置数は適切であるか	6	1			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	7				
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6	1			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	1			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	1			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	1	3		第3者委員会を設けていない。分からぬ。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	1			研修後に報告の機会を設けている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	1			
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	1			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7				月毎のミーティングで活動項目ごとに担当者を決め、内容を考えている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7				活動の習熟度に応じて難易度や設定を変化させている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	1			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	7				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	2			日によってはできていないこともある。 →申し送り時間に当日の連絡事項、職員の配置役割等をする時間を設けているが、活動内容の詳細や利用者の支援状況等についての話し合いが充分に持てていない時があるのでその時間も確保していく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	3	1		うまくいった点といかなかった点を見つけ、共有するようにしている。 シフトの都合上全員がそろっていない時がある。伝達事項はノート等に記載し共有している。 →共有したい情報を話し合えるように支援ノートを作成したもののがあまり使用されていないので職員に再度周知、記入をしてもらう。 活動記録などの反省の機会もつくる。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7				経過表に記録をとっている。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7				
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	6	1			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	7				
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	2	3	1	受け入れしていない。 てんかんなどの持病は主治医の指示のもとマニュアルを作成し、突発的な怪我の場合は野尻医院と連携をしている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	2			要請があれば移行支援会議に出席している。連携ノート等ある場合は支援計画やアセスメントに組み込んでいる。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	4			要請があれば移行支援会議に出席している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	2		1	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	3	2		「てまり」の学童児との交流をしているが今年度は開催しなかった。 昨年度はコロナ禍であったため実施していないが例年は行っている。 →コロナが収束し次第、検討する。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	2	3	1	1	丹南地区の自立支援協議会や丹南地区の放課後等デイや相談支援専門員等関係機関の連絡会に管理者、自発管が参加している。 →職員への周知を行った。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7				送迎時や連絡帳を使って、情報共有を行っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレン特レーニング等の支援を行っているか	1	4	2		必要があれば実施。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7				面談を行っている。 お迎え時など、保護者からの相談に対し、助言や支援方法の検討を行っている。 連携ノートや送迎時に逐一報告等している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	4			昨年はコロナ禍で実施しなかったが例年は実施している。 →コロナが収束し次第、検討する。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備とともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	1			苦情があるかわからない。 苦情があった場合は苦情対応記録に記入し、報告。 →H30年度以降、苦情なし。新規職員への周知が不足していたので再度苦情があった場合の報告、記録などの周知を行った。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	1			「杉の子」だよりを発行している。
	35	個人情報に十分注意しているか	6	1			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	2	4		→以前は、学校の先生などを呼んでカフェなどを開いていたが、現状では難しい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7				マニュアルを作成し、すぐに確認がとれるように掲示してある。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	1			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	1			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4	2	1		身体拘束を行っていない。 身体拘束を必要とする利用者が該当しないため。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	1		1	該当者がいない。 アレルギーの有無については面談時に確認。 保護者を通じて情報を得た時はアセスメント等に記載して注意している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	2			→R2年度はヒヤリハット、事故に該当するものは見られなかった。新規職員への周知が不足していたので再度事故、ヒヤリハットがあった場合の管理者等への報告、記録などの周知を行った。